

組織の目標

多摩ニュータウン環境組合

事務局長:富澤 浩
職員数:19人(平成30年4月1日時点)

■ 組織の役割

- ①ごみ処理施設の設置及び運営に関すること
- ②廃棄物のごみ処理施設から最終処分場までの運搬に関すること

平成30年度

■ 組織の目標

多摩ニュータウン環境組合・多摩清掃工場の経営方針として定める「環境にやさしい安全で開かれた多摩清掃工場」を目指し、安全で安定的な工場運営、将来を見据えた健全な組合経営、そして多摩清掃工場についてのご理解と地域連携をより一層推進することを多摩ニュータウン環境組合の目標とする。

■ 組織の取り組み方針

多摩ニュータウン環境組合は、以下の方針に基づき各々が仕事に取り組む。

- ①ごみをより安全で安定的に処理する。
- ②合理的で効率的に組合経営を行う。
- ③地元自治会や周辺事業所等と連携を進め、清掃工場運営への理解促進と協力体制を構築する。
- ④ごみ処理区域の再編に向けて構成市とともに市民の理解促進に努めていく。

■ 具体的な取り組み

- 1 長期修繕計画に従い、最新の技術、動向を注視しながら設備の工事、修繕を実施する。【施設課】
- 2 既に延命化工事を施した焼却施設の機能維持のため、検討を進めてきたごみ処理区域の再編について、新たな処理区域の詳細を決定し、区域再編によるごみ量見込み、ルート、搬入車台数等を明らかにし、地元住民に周知する。【総務課】【施設課】
- 3 大規模災害により焼却炉が被災した場合を想定した、早期再稼働に向けた手順等を盛り込んだ「災害時対応計画」の策定に着手する。【施設課】
- 4 平成44(2032)年度までの稼働を予定している現清掃工場の次期施設について、基本的な方針の作成に向け準備を開始する。【総務課】【施設課】
- 5 広報紙「たまかんニュース」について、より「手に取っていただける」「読みやすい」紙面への見直しを検討する。あわせて、今年度は組合設立25周年を迎えることから、これを記念した特別広報の作成を行う。【総務課】
- 6 組合設立25周年を迎えることから「たまかんフェスタ」の開催にあわせ周年事業を実施し、組合運営への地元の理解に対する感謝の意を表し、安全で安定的な運営の歴史を改めてアピールする。【総務課】

■ 内部改革の方向性

- 1 環境法令の遵守とともにISO14001に基づき、環境目的・環境目標を定め、その達成に取り組む。
- 2 安全衛生推進協議会、安全衛生委員会による事故ゼロを目指した取り組みを進める。
- 3 職員ポータル等のグループウェアを導入し、職員のスケジュール管理、公用車の予約など業務システムを電子化する。
- 4 次期処理施設への対応のための組織体制の構築に着手する。

■組織の目標

多摩ニュータウン環境組合・多摩清掃工場の経営方針として定める「環境にやさしい安全で開かれた多摩清掃工場」を目指し、安全で安定的な工場運営、将来を見据えた健全な組合経営、そして多摩清掃工場についてのご理解と地域連携をより一層推進することを多摩ニュータウン環境組合の目標とする。

■組織の取り組み方針

多摩ニュータウン環境組合は、以下の方針に基づき各々が仕事に取り組む。
 ①ごみをより安全で安定的に処理する。
 ②合理的で効率的に組合経営を行う。
 ③清掃工場の運営について市民のご理解とご協力を深める。
 ④ごみ処理区域の再編に向けて構成市とともに市民の理解促進に努めていく。

■具体的な取り組み

(成果)

<p>1 将来にわたり、現清掃工場の機能を著しく損なわない運転に向け、ごみ処理区域の再編に向けて構成市との検討、協議を進めるとともに他市の清掃工場等の見学会や勉強会を行うことにより地元の皆さんの理解促進に取り組む。【総務課・施設課】</p>	<p>⇒ 兼任職員会、課長級ワーキング会議の場を活用し構成市との協議を重ね、八王子市、町田市の新たな処理区域案をまとめた。平成30年2月に住民説明会を開催し、新処理区域案の周知を図るとともに、環境配慮、地元との合意形成など、今後区域を確定する過程で留意すべき事項について、住民の方々の意見を伺うことができた。また地元自治会等を対象に実施した清掃施設見学会(八王子市戸吹クリーンセンター)は住民との交流を図る良い機会となった。</p>
<p>2 「中期経営計画「ビジョン2017」(平成25～29年度)の総括を踏まえ、次期の中期経営計画策定に取り組む。【総務課・施設課】</p>	<p>⇒ 「ビジョン2017評価結果」のまとめと並行して、構成市、組合議員からの意見も踏まえ、「中期経営計画ビジョン2022」を策定し、次期処理施設に係る検討を含む課題の明確化が図られた。</p>
<p>3 高齢者・障がい者配慮のJIS規格対応やスマートフォンでの閲覧を考慮したホームページのリニューアルを行う。【総務課】</p>	<p>⇒ ホームページをリニューアルし、JIS8341(読上げ機能)やスマートフォンからのアクセスに対応できる仕様とし、またCMSを導入することで更新作業を簡便化することで、情報発信機能が充実した。</p>
<p>4 構成市と様々な情報共有を進める。【総務課】</p>	<p>⇒ 兼任職員会や工場連絡会の場を活用した情報交換、また個別の課題に対する課長級ワーキング会議の設置により、構成市と組合のコミュニケーションを密にすることで、構成市の意見などを組合運営に反映させることができた。</p>
<p>5 清掃工場焼却施設の南北面の外壁の改修を行う【施設課】</p>	<p>⇒ 前年度に実施した東西面の外壁改修に続き南北面の外壁改修も完了し、老朽化に伴う壁面(タイル)の崩落の危険性が除かれた。</p>
<p>6 定期的な基幹設備整備工事を実施し、稼働から20年になる清掃工場の安定稼働に努める。【施設課】</p>	<p>⇒ 長期修繕計画に基づき整備工事を実施することで、清掃工場の安定稼働が図られた。</p>

■内部改革の方向性

(成果)

<p>1 環境法令の遵守とともにISO14001に基づき、環境目的・環境目標を定め、その達成に取り組む。</p>	<p>⇒ 環境法令等の遵守を含む環境目標17項目は全て達成された。審査機関による更新審査(移行)の結果、1件の改善の余地の指摘はあったが不適合は検出されず、有効に実施され始めていると判断された。EMS委員会12回開催。</p>
<p>2 安全衛生推進協議会、安全衛生委員会による事故0を目指した取り組みを進める。</p>	<p>⇒ 計画通り安全衛生協議会4回、安全衛生委員会8回、計12回開催、安全衛生協議会/パトロールを3回実施、熱中症予防対策講習会年1回、救命講習1回、交通安全講習1回、開催。ストレスチェックの実施。以上の取り組みにより労働災害事故0件達成。</p>